

# ジャパン・ソブリン・オープン

追加型投信／国内／債券

作成対象期間：2018年11月21日～2019年5月20日

第 173 期 決算日：2018年12月20日 第 176 期 決算日：2019年3月20日

第 174 期 決算日：2019年1月21日 第 177 期 決算日：2019年4月22日

第 175 期 決算日：2019年2月20日 第 178 期 決算日：2019年5月20日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本国債を実質的な主要投資対象とし、ラダー型運用を活用することで安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第178期末 (2019年5月20日)

基準価額 9,474円

純資産総額 21,203百万円

### 第173期～第178期

騰落率 +0.4%

分配金合計(\*) 67円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

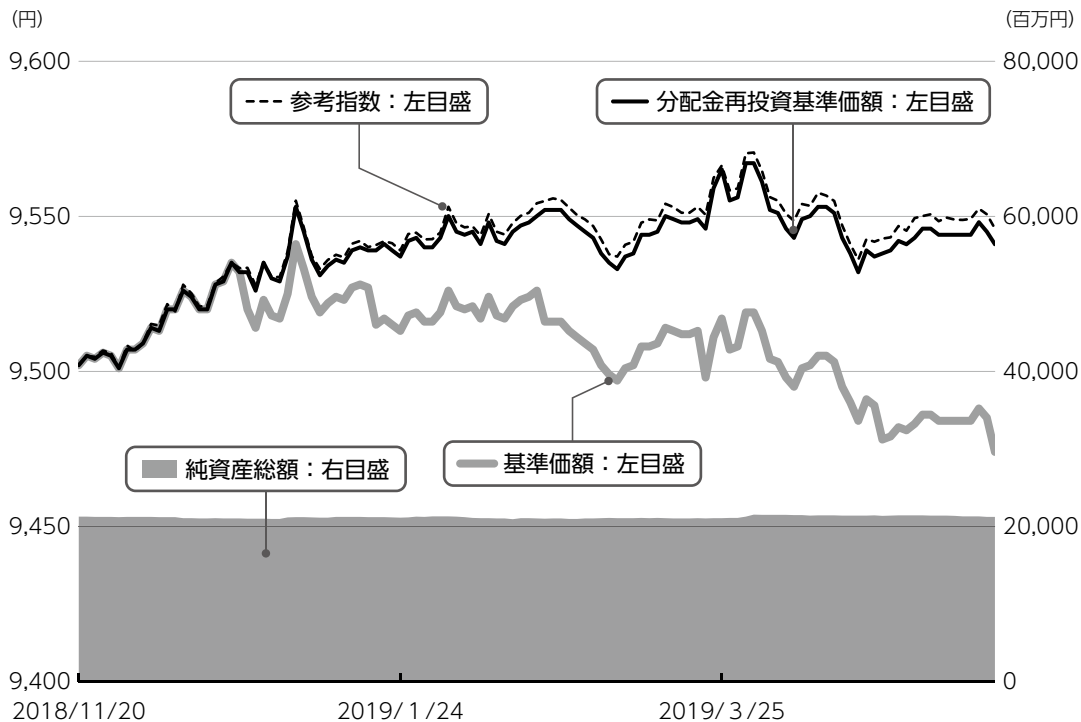
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第173期～第178期：2018年11月21日～2019年5月20日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第173期首	9,502円
第178期末	9,474円
既払分配金	67円
騰落率	0.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

世界的な景気減速懸念が台頭したことなどを受けた、国内金利の低下などが基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数は、NOMURA-BPI/Ladder10年です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年11月21日～2019年5月20日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	第173期～第178期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	7	0.078	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(2)	(0.021)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(4)	(0.040)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.001	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	7	0.079	

作成期中の平均基準価額は、9,509円です。

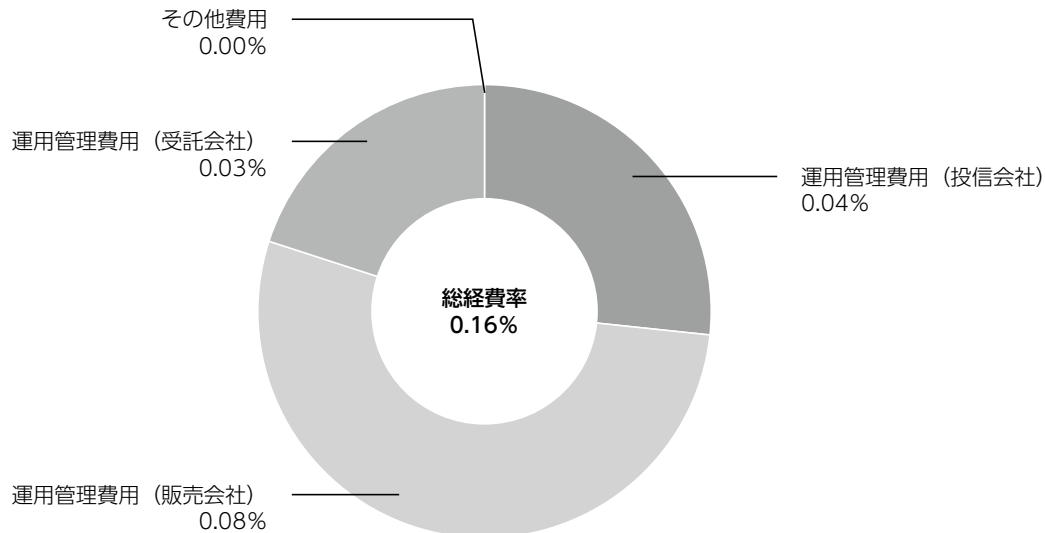
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.16%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

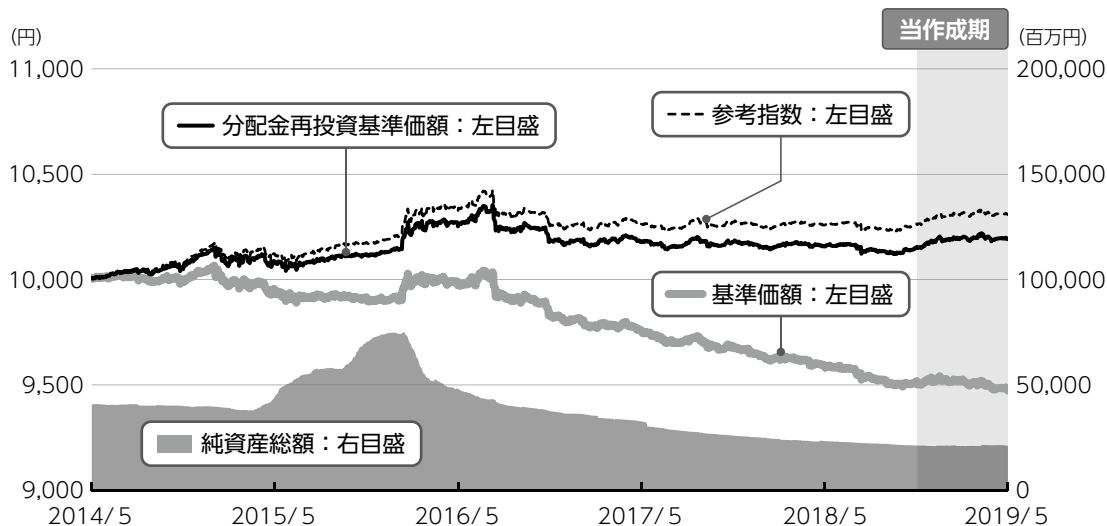
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年5月20日～2019年5月20日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2014年5月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/5/20 期初	2015/5/20 決算日	2016/5/20 決算日	2017/5/22 決算日	2018/5/21 決算日	2019/5/20 決算日
基準価額 (円)	10,007	9,940	9,974	9,746	9,581	9,474
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	144	144	144	144	139
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.8	1.8	-0.8	-0.2	0.3
参考指数騰落率 (%)	—	1.1	2.2	-0.7	-0.0	0.5
純資産総額 (百万円)	40,717	44,619	47,860	32,619	23,330	21,203

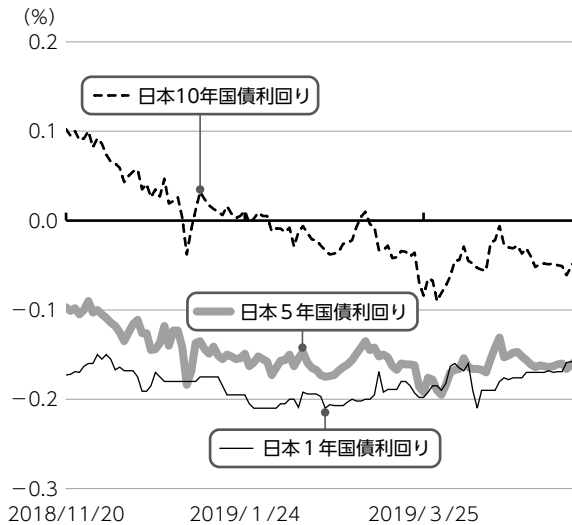
※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、NOMURA-BPI/Ladder10年です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第173期～第178期：2018年11月21日～2019年5月20日

▶ 投資環境について

利回りの推移



▶ 国内債券市況

世界的な景気減速懸念が台頭したことなどを背景に、国内金利は低下しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ジャパン・ソブリン・オープン

ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を概ね99%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

マザーファンドの当作成期末の組入比率は、99.6%としました。

以上の結果、国内金利が低下し、組入債券の価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

▶ **ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド**

基準価額は当作成期首に比べ、0.5%の上昇となりました。

日本国債を高位に組み入れ、国債の残存期間ごとの投資額面金額がそれぞれ同額程度になるような運用（ラダー型運用）をめざしました。

当作成期を通じて純資産総額に対する国債の組入比率をおおむね高位に維持し、当作成期末は99.3%となりました。

ラダー型運用としては、残存10年程度までの国債に投資し、1年程度ごとで見た残存期間ごと（①残存約1年以内、②残存1～2年程度、③残存2～3年程度、・・・、⑩残存9～10年程度の全10期間）の投資額面金額がおおむね等しくなるような運用を行いました。

2018年12月と2019年3月に、組入国債の一部が償還を迎えたため、その償還資金を速やかに残存10年程度の国債に再投資しました。

当作成期末における残存期間ごとの投資額面金額は25.1～26.1億円（投資額面金額の総額は257.3億円）となりました。

デュレーション\*は当作成期を通じて、5年程度となりました。

\*デュレーションとは「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

以上の結果、国内金利が低下し、組入債券の価格が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

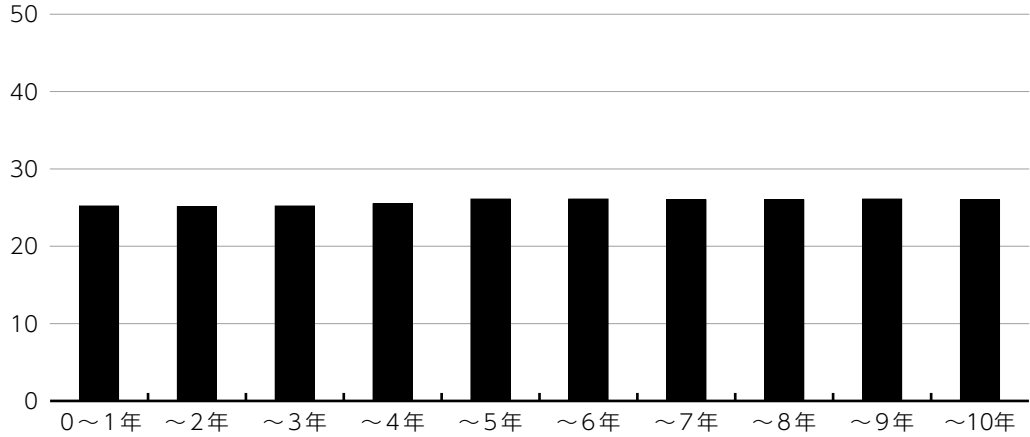


(ご参考)

■組入債券の残存別額面金額 (作成期末：2019年5月20日)

(額面：億円)

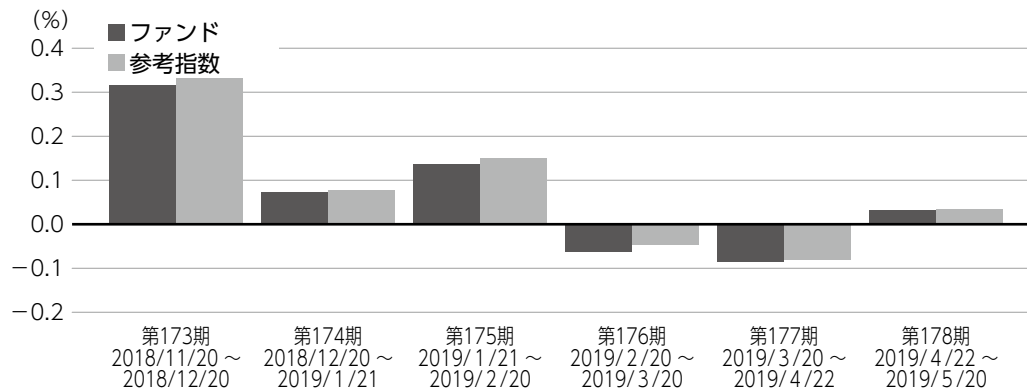
(残存：月次基準)



第173期～第178期：2018/11/21～2019/5/20

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNOMURA-BPI/Ladder10年です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第173期 2018年11月21日~ 2018年12月20日	第174期 2018年12月21日~ 2019年1月21日	第175期 2019年1月22日~ 2019年2月20日	第176期 2019年2月21日~ 2019年3月20日	第177期 2019年3月21日~ 2019年4月22日	第178期 2019年4月23日~ 2019年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>12</b> (0.126%)	<b>12</b> (0.126%)	<b>12</b> (0.126%)	<b>12</b> (0.126%)	<b>12</b> (0.126%)	<b>7</b> (0.074%)
当期の収益	4	4	4	3	4	3
当期の収益以外	7	8	8	8	8	3
翌期繰越分配対象額	300	292	285	276	268	265

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン

#### 今後の運用方針

ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

### ▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド

#### 運用環境の見通し

日銀は10年物国債金利をゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買い入れを行うとしており、過度な金利変動を抑制する姿勢を見せていることから、長期金利は方向感のない展開が続くものとみております。

#### 今後の運用方針

引き続き、日本国債を主要投資対象とします。

運用に当たっては、組入比率を高位に保ちながら、残存期間ごと（最長10年程度）で見た投資額面金額が同額程度になるような運用（ラダー型運用）をめざします。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

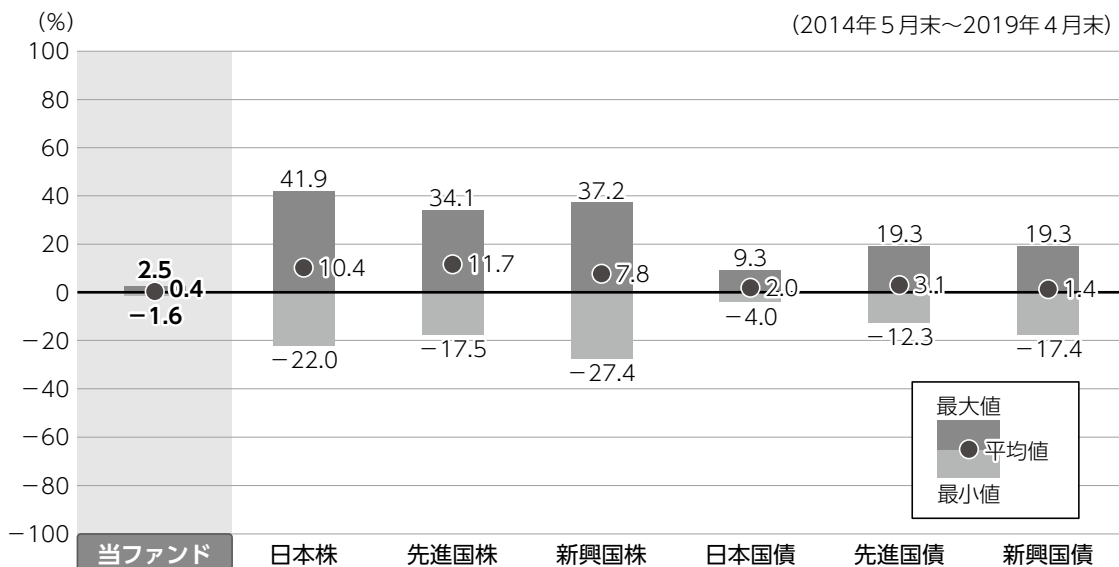
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限（2004年6月11日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド                      ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド                      わが国の国債</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。</li> <li>・ラダー型運用を活用し、安定した収益の確保を目指します。</li> </ul>
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年5月から2019年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年5月20日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第178期末 2019年5月20日
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	99.6%

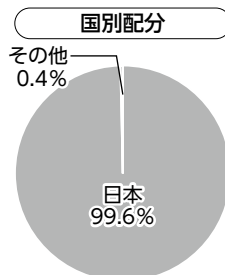
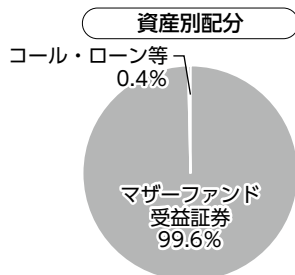
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第173期末 2018年12月20日	第174期末 2019年1月21日	第175期末 2019年2月20日	第176期末 2019年3月20日	第177期末 2019年4月22日	第178期末 2019年5月20日
純資産総額 (円)	20,976,631,392	21,167,842,485	20,993,812,367	21,013,948,369	21,351,175,659	21,203,451,275
受益権口数 (口)	22,033,824,830	22,246,412,236	22,062,257,585	22,124,201,555	22,526,776,761	22,380,287,909
1万口当たり基準価額 (円)	9,520	9,515	9,516	9,498	9,478	9,474

※当作成期間中（第173期～第178期）において追加設定元本は2,441,952,847円  
同解約元本は 2,422,692,321円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。



154011

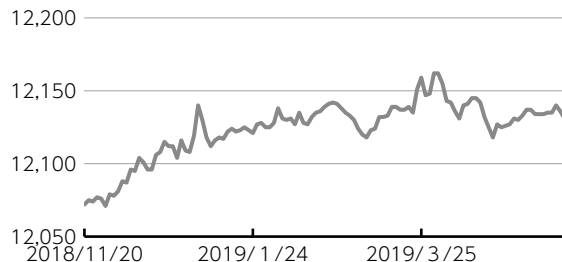
2019年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2018年11月20日～2019年5月20日  
(円)



1万口当たりの費用明細

2018年11月21日～2019年5月20日  
該当事項はございません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：40銘柄)

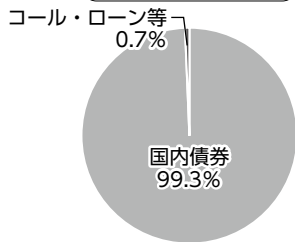
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	第334回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.6
2	第333回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.6
3	第336回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.6
4	第306回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.6
5	第330回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.6
6	第329回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.5
7	第335回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.5
8	第332回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.5
9	第339回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.5
10	第344回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	2.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

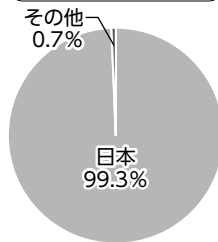
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

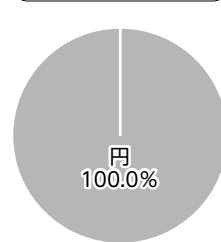
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『NOMURA-BPI/Ladder10年』について

NOMURA-BPI/Ladder10年とは、野村証券株式会社が発表している期間10年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● T O P I X (配当込み)

T O P I X (配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数 (T O P I X) に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。T O P I X (配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、T O P I X (配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、T O P I X (配当込み)の算出もしくは公表の停止またはT O P I X (配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● M S C I コクサイ・インデックス (配当込み)

M S C I コクサイ・インデックス (配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、M S C I コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

M S C I エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、M S C I エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● N O M U R A - B P I (国債)

N O M U R A - B P I (国債)とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、N O M U R A - B P I (総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● F T S E 世界国債インデックス (除く日本)

F T S E 世界国債インデックス (除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信